

旧新田川 杉堀川 服部川 伊賀三川 合流地帯は 古来川 水禍の常襲地帯 近世の人は 川の難を  
 避けるに 爲すに 網川 佐川 杉堀川 等 忘れたる 川に 治すに 始まつた 大洪水也 山津波  
 利攻の目録では 盆地が 突然 水滄原と化した ことには、一帯 北の山を見れば 無数に 赤い  
 地肌を 見せて あり、一帯 何が 生じたのが、こと たら 果然と 立ち 尽すのみ、  
 大滄原の 生たる 原因は 若原峠に 在る。峠の 開削を 求め 争は 次々に 強く  
 大きくなり 行つた ことは 当然の 事と思つて ありつた  
 川の 事や 望みは 大に 思ひ出た 此時の 代議士也 各者 序の方々、あつた 県市の 関係各位 等  
 方々の方々の 尽力に 依り 三川 合流地帯の 旧建設者 直括 河川と して 治水工事が  
 始まつた。この 機に 改めて 関係各位に 深く 感謝の 意を 表した。つ  
 水未 30 年余り 経た 月日、治水工事の 全容が 目に見取れる までに なり 本報 締結 する まで、  
 中心に 着せる 日は 近し、と 大なる 期待を 抱く 今日で ござります  
 が 最近に 行つた 川と 谷川 不用論を 唱へる 人達が 一部で ある 也に 伺つて ありつた  
 川上 谷川は 上野 治水地と せよと 行つて 峠の 下流域 住民の 治水時 防災の 役目を 果す、  
 と 固より 役目を 定めら せられた。キと 云ひ せつた 故に 川上 谷川と 上野 治水地は  
 同而 治水 計画の 根幹と なる 重要な 施策、早期 完成し 川の 効果を示す ことには 必す  
 の 関連 治水 施策が 実施 され 淀川 流域 治水 計画が 盤石と なる こと ありつた。  
 国交省 関係各位に 申し 上げ する。先人の 賢業は 例え 時を 経て 歳々 と 受継ぎ 行は せよ 又  
 賢者の 賢業、忘れた 頃には 也つ 来る 天災で 是 制する には 賢政 運出 出が 人員で する  
 淀川 流域 委員会 各委員に 申し 上げ する。和歌 上野 治水地 住民、及 川上 谷川 関係 住民  
 共に 本報を 大いに 力か かり 幸福に させぬ 様に 願ひ 治水也、谷川 計画に 同意す こと 共に  
 主たる 目的は 峠の 下流で あり、こと 川上 谷川 上下 流域 共に 其 策の 願ひ 込め する  
 本 計画の 早期 完成を 切望 して あり する 事 告知 する こと あり 候。お 願ひ 申し 上げ する。

伊賀市 藤榎有朋